

中札内より元気いっぱい!

第112号

令和6年12月16日(月)

北海道中札内高等養護学校 校長室より

自分の命を守る、誰かの命を救う

中札内本校で「一日防災学校」を行いました。毛布があれば人を運ぶことができることや運ぶ際の配慮点を学びました。また、煙の恐ろしさを実際に煙の充満したテントに入って体験しました。

もうすぐ能登半島で起こった地震から1年がたちます。思いがけなく起こる災害時、自分がどう行動すれ



ばよいのか?自分のできることがあるのかどうか?と考える機会になってくれれば…と思います。

当日ご協力いただきました中札内村消防署のみなさま、ありがとうございました。

自ら手伝える 生徒たち

この日、防災教室が終わって3年生が進んでテントや机などの道具を片付けてくれました。(写真右)言われたこと以外に自分がやれることをやろうとする姿、素晴らしいと思いました。ありがとう



サッカー部、がんばりました!

サッカー部の生徒たちが、先日「第24回北海道チャレンジドフットサル大会」に出場しました。

出場人数ぎりぎりのメンバーで臨んだ大会で、誰もケガすることなく最後まで試合に臨めたことは大変素晴らしいことだと思っています。

堂々と戻ってきた生徒たち、一回り成長しましたね。



12月20日(金)に、公開研究会を開催します。

お昼の時間に、「インクルーシブな学校運営モデル事業」の報告も予定しています。

その後、国立特別支援教育総合研究所の丹野哲也先生の御講演です。「知的障がい教育におけるカリキュラム・マネジメント」についてのお話です。